作成日　2026年2月2日
改訂日　2026年7月3日

安全データシート(SDS)

製品名　　スーパーウインドウ撥水コーティングSKATO　下地用コンパウンド

1. 製品及び会社情報

製品名　：スーパーウインドウ撥水コーティングSKATO　下地用コンパウンド
品番　：08871-K9021
推奨用途及び使用上の制限
　推奨用途　：研磨【業務用】
　使用上の制限　：推奨用途以外への使用は禁止する
供給者の会社名称　：中央自動車工業株式会社
　住所　：大阪市北区中之島4丁目2番30号
　担当部門　：商品開発部 研究開発グループ
　電話番号　：06-6443-5846
　FAX番号　：06-6445-8573
整理番号　：7005-6-2

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類　：生殖毒性　区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)　区分3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性(反復ばく露)　区分1（肺）
区分2（肝臓、腎臓）
※記載のないものは区分に該当しないまたは分類できない。

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル

注意喚起語　：危険

危険有害性情報

H361　生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
H335　呼吸器への刺激のおそれ
H372　長期にわたる、または反復ばく露による肺の障害
H373　長期にわたる、または反復ばく露による肝臓、腎臓の障害のおそれ

注意書き
【安全対策】

P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P202　全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260　粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264　取扱い後、手をよく洗うこと。
P270　この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
P271　屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P280　保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】

P304+P340+P312　吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

P308+P313　ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診察、手当てを受けること。

P314　気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。

【保管】

特になし

【廃棄】

P501　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別　:混合物

含有成分及び含有量

物質名	含有量(%)	毒劇法	安衛法	化管法	CAS No.
酸化アルミニウム	40 - 50	非該当	非該当※1	非該当	1344-28-1
ジエチレングリコール	1 - 5	非該当	該当	非該当	111-46-6
増粘剤	非公開	非該当	非該当	非該当	非公開
防腐剤	< 1	非該当	非該当	非該当	非公開
水	50 - 60	非該当	非該当	非該当	7732-18-5

この組成の正確な含有量(濃度)は営業秘密として非開示としています。

※1: 令和5年8月30日以降、非該当。

4. 応急措置

吸入した場合　:空気の新鮮な場所に移し、保温して安静を保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させる。
嘔吐がある場合は頭を横向きにして嘔吐物を飲み込ませない様にする。
気分が悪い場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合　:汚染された衣類を速やかに脱ぎ、皮膚を多量の水と石けんで十分に洗う。
外観の異常や痛みがある場合は、直ちに医師の診察を受ける。

眼に入った場合　:清浄な流水で15分間注意深く洗う。容易に外せる場合はコンタクトレンズを外して洗眼する。
眼の刺激が続く場合は眼科医による診察と手当てを受ける。

飲み込んだ場合　:誤えんの恐れがあるため無理に吐かせない。口腔内を水洗し、医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤　:この製品自体は燃焼しない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項　:屋内で漏出した場合は、窓、ドアを開けて十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺に、ロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際、皮膚、目、呼吸器を保護する適切な保護具を着用する。
風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項　:洗浄した水等は地面や排水溝にそのまま流さない。
下水等に入り込まないように注意する。

除去方法　:少量の場合は、土、砂、土砂、乾燥砂、ウエス等に吸収させ、密閉できる空容器に回収する。
多量の場合は、土砂・土のう等で流出を防ぎ、安全な場所に導いて回収する。
廃棄物は、関連法規等に基づいて処理する。

二次災害の防止法　:漏出時は速やかに関係機関に通報する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	:換気の良い場所で使用し、蒸気及び噴霧されたミストを吸い込まないようにすること。
安全取扱い注意事項	:製品記載の使用上の注意をよく読み、用途以外に使用しないこと。
接触回避	:特になし
衛生対策	:必要に応じて、皮膚、目、呼吸器を保護する適切な保護具を着用すること。 作業中は、飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後は、手洗い、うがい、洗顔等を十分に行い、作業衣等に付着した場合は着替えること。

保管

安全な保管条件	:容器は使用する都度密閉し、風通しの良い冷暗所に施錠して保管すること。 直射日光、40°C以上の高温は避けること。
安全な容器包装材料	:特になし。容器を移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度等

物質名	管理濃度	許容濃度 Threshold limit value	
		日本産業衛生学会 (2020年度版)	ACGIH (2019年版)
酸化アルミニウム	-	(吸入性粉塵)0.5, (総粉塵)2 mg/m^3	TWA 1 mg/m^3

濃度基準値設定物質　:ジエチレングリコール (八時間濃度基準値:10ppm)

設備対策　:屋内は全体に換気する。
換気の悪い場所及び蒸気の発生の多い場所には局所排気装置を設ける。
屋内作業場で多量に使用する時は、蒸気が滞留しないように、排気装置を設ける。
取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具	:簡易防塵マスクを必要に応じて着用すること。
手の保護具	:保護手袋を必要に応じて着用すること。
目の保護具	:保護眼鏡を必要に応じて着用すること。
皮膚の保護具	:保護衣、保護前掛けを必要に応じて着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	:混濁液体
色	:白色
臭い	:微臭
融点／凝固点	:データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	:データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	:データなし
引火点	:この製品自体は燃焼しない。
自然発火点	:データなし
pH	:9.7
動粘性率	:データなし
溶解性	:データなし
n－オクタノール／水分配係数	:データなし
蒸気圧	:データなし
密度及び／又は相対密度	:1.42
相対ガス密度	:データなし
粒子特性	:データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い条件において安定
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 高温へのばく露
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性－経口
- 製品 : 区分に該当しない。 ATEmix > 2,000 mg/kg(混合物の1 - 10%は毒性が未知の成分からなる。)
- 酸化アルミニウム : LD_{50} > 5,000 mg/kg (ラット) [NITE-CHRIP]
- ジエチレングリコール : LD_{50} > 15.6 g/kg (ラット) [NITE-CHRIP]
- 防腐剤 : LD_{50} = 1,171.883 mg/kg (推定値) [原料SDS]

急性毒性－経皮
- 製品 : 区分に該当しない。 ATEmix > 2,000 mg/kg(混合物の40 - 50%は毒性が未知の成分からなる。)
- ジエチレングリコール : LD_{50} > 13,300 mg/kg bw (ウサギ) [NITE-CHRIP]
- 防腐剤 : LD_{50} = 511.184 mg/kg (推定値) [原料SDS]

急性毒性－吸入
- 製品 : 分類できない。(現在までのところ有用な情報なし。)
- ジエチレングリコール : ラットに4500mg/m^3(ミスト)を4時間ばく露により死亡例はなかった(DFGOT(vol.10, 1998))が、このデータのみでは分類できない。[NITE-CHRIP]

皮膚腐食性/刺激性
- 製品 : 区分に該当しない。
- ジエチレングリコール : ウサギを用いた皮膚刺激性試験(Draize test)の結果は軽度の刺激性(slightly irritating)であり(IUCLID(2000))、ヒトに48時間適用、あるいはモルモットに反復適用してもなお刺激性なしの結果が得られている(DFGOT vol.10(1998)。JISの分類基準により区分外とした(国連GHSでは区分3に相当)。[NITE-CHRIP]
- 防腐剤 : 区分1の成分を5%以上含有。[原料SDS]

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
- 製品 : 区分に該当しない。
- ジエチレングリコール : ウサギを用いた試験で、刺激性が認められていない(DFGOT vol.10(1998)、PATTY(5th, 2001))ことから区分外とした。[NITE-CHRIP]
- 防腐剤 : 区分1の成分を5%以上含有。[原料SDS]

呼吸器感作性
- 製品 : 分類できない。(現在までのところ有用な情報なし。)

皮膚感作性
- 製品 : 区分に該当しない。
- ジエチレングリコール : モルモットの皮膚感作性試験(Maximization test)(DFGOT vol.10(1998))、およびヒトのパッチテスト(IUCLID(2000))における感作性なし(no evidence of sensitizing effects)の結果に基づき「区分外」とした。[NITE-CHRIP]

生殖細胞変異原性
- 製品 : 分類できない。(現在までのところ有用な情報なし。)

発がん性
- 製品 : 区分に該当しない。
- 酸化アルミニウム : ACGIHでA4に分類されていることより区分外とした。[NITE-CHRIP]

生殖毒性
- 製品 : 区分2
- ジエチレングリコール : マウスを用い交配前からのばく露による2世代生殖試験において、同腹児数の減少に加え、脳ヘルニア、口蓋裂の頭蓋顔面奇形が観察された(DFGOT vol.10(1998))。口蓋裂はハムスターの妊娠8日目の腹腔内投与でも報告されている(DFGOT vol.10(1998))。これらの影響が現れた用量では同時に母動物の体重減少、ハムスターでは死亡が見られ(DFGOT vol.10(1998))、即ち、親動物での一般毒性が発現する用量で明確な生殖毒性が記述されていることから区分2とした。[NITE-CHRIP]

特定標的臓器毒性(単回ばく露)
　製品　　:区分3(気道刺激性)
　　酸化アルミニウム　　:上気道刺激性(ICSC(2000))の記載より区分3(気道刺激性)に分類した。[NITE-CHRIP]
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
　製品　　:区分1(肺)、区分2(肝臓、腎臓)
　　酸化アルミニウム　　:酸化アルミニウムの職業ばく露により、肺に線維症が認められた(EHC(1997))との記載より区分1に分類した。[NITE-CHRIP]
　　ジエチレングリコール　　:ラットの反復経口ばく露による特徴的な所見として、蓚酸の排泄増加とともに尿中に蓚酸カルシウム結晶が形成され、腎障害(ネフローゼ)が見られたと報告されている(DFGOT vol.10(1998))。ばく露が長期に及ぶと膀胱結石も観察され、また、腎臓に比べ軽度ながら肝障害の記述も一部にある(PATTY(5th, 2001))。しかし、これらの影響はいずれもガイダンス値範囲のカットオフ値(100 mg/kg/day)を超えたかなり高用量における所見である。一方、ヒトでは本物質のばく露に関して複数の疫学調査が実施され、それらの結果によれば、多数の死亡例、進行性の腎障害と最終的に腎不全、一部の報告では肝障害が報告されている(DFGOT vol.10(1998))。以上、ラットの反復ばく露の所見を考慮に入れ、ヒトの疫学調査の結果に基づき区分1(腎臓、肝臓)とした。[NITE-CHRIP]
誤えん有害性
　製品　　:分類できない。(現在までのところ有用な情報なし。)

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性　短期(急性)
　製品　　:区分に該当しない。
　　ジエチレングリコール　　:LC_{50} = 75,200 mg/L/96h (魚類ファットヘッドミノー) [NITE-CHRIP]
　　防腐剤　　:区分1の成分を25%以上含有。[原料SDS]
水生環境有害性　長期(慢性)
　製品　　:区分に該当しない。
　　ジエチレングリコール　　:難水溶性でなく(水溶解度:1,000,000 mg/L(SRC, 2005))、急性毒性が区分外であることから、区分外とした。[NITE-CHRIP]
　　防腐剤　　:区分3 [原料SDS]
残留性・分解性
　製品　　:データなし
　　酸化アルミニウム　　:溶けない (ICSC, 2000) [原料SDS]
　　ジエチレングリコール　　:100 g/100 mL (SRC, 2005) [原料SDS]
生体蓄積性
　製品　　:データなし
　　ジエチレングリコール　　:log Pow = −1.47 (ICSC, 2007) [原料SDS]
土壌中の移動性
　製品　　:データなし
オゾン層への有害性
　製品　　:データなし

13. 廃棄上の注意

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
容器、機械装置等を洗浄した排水は、地面や排水溝にそのまま流さない。
空容器は、内容物を完全に除去した後に廃棄する。
その他関連法規の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国際規制
　国連番号　　:非該当

海洋汚染物質　：非該当
国内規制
陸上輸送　：消防法の定めるところに従う。
海上／航空輸送　：船舶安全法、航空法の定めるところに従う。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策
：“取扱い及び保管上の注意”の項の一般的注意に従う。
容器は漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
水漏れ・横積み厳禁。
緊急時応急措置指針番号　：非該当

15. 適用法令

化審法　：本製品は既存化学物質の混合物に該当するため対象外
消防法　：非危険物
毒物及び劇物取締法　：非該当
労働安全衛生法
危険物　：非該当
特定化学物質障害予防規則：非該当
有機溶剤中毒予防規則　：非該当
第一種有機溶剤等　：含有していない。
第二種有機溶剤等　：含有していない。
第三種有機溶剤等　：含有していない。
表示対象物質　：ジエチレングリコール
通知対象物質　：ジエチレングリコール
濃度基準値設定物質　：ジエチレングリコール（令和8年10月1日以降）
化学物質排出把握管理促進法：非該当
船舶安全法　：非該当
航空法　：非該当
海洋汚染防止法　：非該当
有害液体物質　：ばら積みの輸送条件に当たらない。

16. その他の情報

1. 配合原料メーカー発行の安全データシート
2. GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
（2023年9月版、一般社団法人 日本化学工業協会 編集、一般財団法人 日本規格協会 発行）
3. 各関連法規
4. NITE 化学物質総合情報提供システム（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）

混合物である製品の危険有害性情報は、個々の原材料の危険有害性情報から推定したものです。安全データシートは、危険有害な化学製品について安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者に提供されるものであり、安全の保証書ではありません。取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずる必要があることを理解した上で、活用されるようにお願いします。